

平成31年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

科目名：行政学

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計2ページで4問ある。

1. 行政学
2. 公共政策

4問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 行政学 出題分野名 行政学

問題1 ストリートレベルの官僚制とはいかなるものか、具体的な例を示しつつ説明した上で、理論的にはどのようにその特徴を位置付けることができるかについて論じなさい。

問題2 1990年代後半から2000年代前半にかけて、中央の行政機構については省庁再編や官邸機能強化といった行政改革が、中央・地方関係については第一次地方分権改革が行われた。それぞれの内容を簡単に説明した上で、両者の間の関係をどのように理解できるか論じなさい。

科目名 行政学 出題分野名 公共政策

問題1 政策変化や制度変化において「アイデア」が果たす役割について、具体的な例および代表的な研究事例についても触れつつ、説明しなさい。

問題2 政策執行における違反者の類型にはどのようなものが考えられ、それに対する行政の対応としてはどのようなものが考えられるか。具体的な政策の例を挙げながら、説明しなさい。